

清浄寺 本堂・真向阿弥陀如来絵像

埼玉県吉川市木売



清浄寺は埼玉県内唯一の親鸞聖人御旧跡寺院である。現在清浄寺のある木売は、かつて二郷半領と呼ばれていた。寺伝によれば、あるとき野田の西念を訪れた親鸞聖人は、「二郷半木売河戸は舟つきにて諸国の人民集る所なれば宿縁ふかき郡類やあらんとて西念に命じて当院を起立して西光院と名づけ、師弟かわるがわる野田と

当寺とに説法ましましけり。本尊は真向の弥陀如来を自筆したまい、これを安置し昼夜供養浅からず」とある。真向とは、正面を向いた、という意味のようだが、その由来は記されていない。実は東京葛西にも親鸞聖人伝説と同様な絵像を伝える他宗人が数か寺あり、江戸時代この御絵像は、「おまむきさま」と呼ばれ庶民に信仰されたという。（「埼玉の真宗」写真展より転載）



清浄寺 真向阿弥陀如来絵像